

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	急性・慢性心不全症例
介入	包括的臓リハビリテーション
対照	同治療を受けた男性患者

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

[illegible][illegible]

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

[illegible][illegible]

◆パイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高(-2)」、「中/疑い(-1)」、「低(0)」の3段階。
まともは「高(-2)」、「中(-1)」、「低(0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。

◆上昇要因
各項目の評価は「高(+2)」、「中(+1)」、「低(0)」の3段階。

まとはめは「高(+2)」、「中(+1)」、「低(0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

コメント（該当するセルに記入）

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	高度大動脈弁狭窄症の女性
介入	TAVI
対照	高度大動脈弁狭窄症の男性

アウトカム		死亡(30日)																												対照群		平均値		標準偏差		介入群		平均値		標準偏差		平均値 ・標準化平均値		標準偏差	
個別研究		バイアスリスク*																												リスク人数（アウトカム率）															
		選択バイアス		実行バイアス		検出バイアス		識別減少バイアス		その他		上昇要因**					非直接性*																												
ド 研 究 コ ー ン	デ ザ イ ン	の 背 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア ボ 測 定 切 か な	ア フ ホ ワ 定 ブ ロ 全 ！ な	整 交 不 結 十 の 分 開	バ ソ イ の 他 ア ス	ま と め	係 重 反 応 関	交 絡 結 果 異 例	大 治 ま 事 の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ 力	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	(効 果 指 標	(効 果 指 標	信 頼 区 間																			
Vlastra, 2019	コホート研究	-2	0	0	0	-1	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5261	255	5.5	7120	379	5.9	RR		1.1	1.0-1.3																	
Katz, 2017	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	401	26	6.5	418	48	11.5																					
Chiam, 2020	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	398	13	3.4	475	20	4.3	OR		1.26																		
Pighi, 2019	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	419	17	4.1	340	24	7.1	OR		1.73																		
Deharo, 2021	コホート研究	-2	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12336	404	4.2	12336	407	4.3	OR		1.02																		
Goncalves, 2021	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276		2.9	316		3.8	OR		1.31																		
Stehli, 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-1	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	355	1	0.3	328	8	2.4	OR		8.75	1.09-69.6																	
Kilic, 2019	コホート研究	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	518	15	3.3	518	17	3.7	OR		1.12																		
Sannino, 2018	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	487	14	2.9	423	12	2.8	OR		0.97																		
Doshi, 2017	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3087	120	3.9	3087	145	4.7	NA	NA	NA																		
Gaglia, 2016	コホート研究	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	372	20	5.4	383	36	9.4	NA	NA	NA																		
Forrest, 2016	コホート研究	-1	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1979	114	5.8	1708	100	5.9	NA	NA	NA																		
Sherif, 2014	コホート研究	-2	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	605	52	8.6	827	63	7.6	NA	NA	NA																		
Al-Lamee, 2014	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	871	59	6.8	756	44	6.3	NA	NA	NA																		
D'Ascenzo, 2013	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	14	8.7	216	16	7.4	NA	NA	NA																		
Stangl, 2012	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	1	2.4	58	2	3.4	NA	NA	NA																		

Humphries, 2012	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	278	31	11.2	306	20	6.5	OR		0.39	0.19-0.80
Hayashida, 2012	コホート研究	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129	23	17.8	131	16	12.2	NA	NA	NA	
Shishido, 2021	コホート研究	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	795	16	2	1793	30	1.7	NA	NA	NA	
Szerlip, 2018	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1004	12	1.2	657	13	2	HR		1.67	0.76-3.65
Chandrasekhar, 2016	コホート研究	-2	-1	0	0	-1	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11844	1489	24.5	11808	1400	21.3	OR		0.73	0.63-0.85
Biere, 2015	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	184	2005	9.2	1967	187	9.5	HR	NA	NA	

[illegible]

アウトカム	死亡(1年)
-------	--------

リスク人数（平均値、標準偏差）							
対象群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	平均偏差 ・標準化平均値	標準偏差
1			2				
3			4				
5			6				
7			8				
9			10				
11			12				
13			14				
15			16				
17			18				
19			20				
21			22				
23			24				
25			26				
27			28				
29			30				
31			32				
33			34				
35			36				
37			38				
39			40				
41			42				
43			44				
45			46				
47			48				
49			50				
51			52				
53			54				
55			56				
57			58				
59			60				
61			62				
63			64				
65			66				
67			68				
69			70				
71			72				
73			74				
75			76				
77			78				
79			80				
81			82				
83			84				
85			86				
87			88				
89			90				
91			92				
93			94				
95			96				
97			98				
99			100				

個別研究		バイアスリスク*						上昇要因**				非直接性*				リスク人数（アウトカム率）								（効果 種類指 標）			（効果 指標）			信頼 区間					
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他										母対 照群 分		子対 照群 分		（%）		母介 入群 分											子介 入群 分		（%）
ド 研 究 コ ー ル	デ ザ イ ン	の 背 差 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア 不 測 ウ 適 定 ト 切 か な	ア フ 不 ッ キ 完 ロ ー な	整 交 不 結 十 の 分 調 な	バ そ イ の ア 他 ス の	ま と め	保 量 反 応 関	交 効 結 果 減 弱	大 効 き 果 の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ	ま と め		母 対 照 群 分	子 対 照 群 分		母 介 入 群 分	子 介 入 群 分												
Chiam, 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	398	47	11.8	475	68	14.3	OR	1.21									
Pighi, 2019	コホート研究	-2	0	0	0	-1	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	419	69	16.4	340	63	18.5	OR	1.13									
Denegri, 2021	コホート研究	-2	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			15				11.5	HR	1.16	0.82-1.65							
Goncalves, 2021	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276		15.2	316		11.1	OR	0.73									
Stehli, 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-1	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	344	27	7.8	326	27	8.3	OR	1.06	0.61-1.85								
Sannino, 2018	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	487	51	12.7	423	24	7	OR	0.55									
Gaglia, 2016		-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	372	64	17.3	383	47	12.4	NA	NA	NA								
Forrest, 2016	コホート研究	-1	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1979	406	24.1	1708	315	21.3	NA	NA	NA								
Sherif, 2014	コホート研究	-2	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	605	143	23.6	827	143	17.3	HR	0.75	0.57-0.98								
AL-Lamee, 2014	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	871	195	22.4	756	166	21.9	HR	0.91	0.75-1.10								
Hayashida, 2012	コホート	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	HR	1.62	1.03-2.53								
Shishido, 2021	コホート研究	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	795	105	13.2	1793	167	9.3	HR	0.615	0.512-0.738								
Fearon, 2014	コホート	0	0	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA								
Szerlip, 2018	コホート	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1004	103	10.4	657	61	9.4	NA	NA	NA								
Chandrasekhar, 2016	コホート	-2	-1	0	0	-1	-1	-1	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11844	1489	24.5	11808	1400	21.3	OR	0.73	0.63-0.85								
Biere, 2015	コホート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2005	291	14.5	1967	193	9.8	HR	0.71	0.57-0.88								

コメント（該当するセルに記入）

	背景因子に有意差あり				交絡因子の調整なし	Asiaに限定されている																						
	背景因子に有意差あり				交絡因子の調整なし																							
	背景因子に有意差あり			経過中に症例減少あり																								
	背景因子に有意差あり			経過中に症例減少あり																								
	背景因子に有意差あり				交絡因子の調整なし																							
	背景因子に有意差あり			経過中に症例減少あり																								
	背景因子に差あり			フォローアップできていない人いる	Cox比例ハザード																							
	背景因子差あり				交絡因子調整なし																							
	背景因子に有意差あり				Cox比例ハザード																							
	背景因子に有意差あり（心エコー所見など）				交絡因子調整なし																							
	Euro score高いhigh risk				Cox回帰分析																							
	背景因子に有意差あり（併存疾患、腎機能など）				Cox回帰分析																							
前向きコホート					多変量解析での調整は未施行																							
	SAPIENに限定	併存疾患に男女差あり			多変量Cox比例ハザード																							
	女性の方が高齢			1年死亡	ロジスティック回帰分析																							
					Cox比例ハザード																							

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	高度大動脈弁狭窄症の女性

＊バイアスリスト、非直接性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
主項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階

Fearon, 2014	コホート	0	0	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
Szerlip, 2018	コホート	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1004	42	4.2	657	47	7.2	HR	3	0.6-5.3	
Chandrasekhar, 2016		-2	-1	0	-1	-1	-1	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11844	520	4.39	11808	976	8.27	OR	1.7	1.34-2.14	
Biere, 2015	コホート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2005	38	1.9	1967	85	4.3	HR	NA	NA	

[illegible]

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	高度大動脈弁狭窄症の女性
介入	TAVI
対照	高度大動脈弁狭窄症の男性

アウトカム	心不全再入院
	バイアスリスク*

リスク人数（平均値、標準偏差）							
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	平均偏差 ・標準化平均値	標準偏差

個別研究		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他			上昇要因*					非直接性*					リスク人数（アウトカム率）						（効果量指標）	（効果指標）	信頼区間
ド 研 究 コ ー	デ ザ イ ン	の 背 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア 不 測 ウ 適 定 ト 切 カ ナ	ア フ ホ フ オ 完 全 ！ ナ	整 交 不 結 十 の 分 調 な	バ そ イ の ア 他 ス の	ま と め	係 重 反 応 関	交 動 結 果 減 弱	大 効 き 果 の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ 力	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)				
Goncalves, 2021	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276		10.4	316		10.2	OR	1.02	
Stehli, 2020	コホート研究	-2	0	0	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	212	34	16	194	27	13.9	OR	0.85	0.49-1.46
Kilic, 2019	コホート研究	-2	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	518	225	43.4	518	212	40.9			

コメント（該当するセルに記入）

	背景因子に有意差あり				交絡因子の調整なし																						
	背景因子に有意差あり				経過中に症例減少あり																						
	背景因子に有意差あり				経過中に症例減少あり																						

CQ3 従来設定されているABIカットオフ値を用いる際に、性差を考慮すべきか？

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	女性。一般市民／リスクファクターを有する人/透析患者
介入	女性特有のABIのカットオフ値（ABI<0.9 ABI>1.40）
対照	男性著同じABIカットオフ値（ABI<1.0）
参照スタンダード	画像検査

＊バイアスリスク、非直接性
 各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（+1）」、「低（0）」の3段階。
 まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 ＊＊上昇要因
 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
 まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまともを。

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）						平均標準差 ・標準化平均値	標準偏差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差		

アウトカム		PADの診断精度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
個別研究							バイアスリスク												非直接性*					まとめ	リスク人数（アウトカム率）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		症 例 数	年 齢	フ カ 値 ツ ト オ	参 照 基 準	ダ シ 臨 値 の 選 別 即	質 検 化	質 検 化	参 照 基 準 な	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率	検 査 完 全 率

Pabon 2022 (文献15 Zheng Am J Prev Med. 2005; 29:42-49.)	コホート研究	African american men 1556		54	≤0.85	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		2.8	2.2-3.5	x	x	
Pabon 2022 (文献15 Zheng Am J Prev Med. 2005; 29:42-49.)	コホート研究	African american women 2526		53	≤0.85	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		2.6	2.1-3.2	x	x	
Pabon 2022 (文献15 Zheng Am J Prev Med. 2005; 29:42-49.)	コホート研究	White men 5239		55	≤0.85	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		1.4	1.19-1.7	x	x	
Pabon 2022 (文献15 Zheng Am J Prev Med. 2005; 29:42-49.)	コホート研究	White women 5852		54	≤0.85	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		1.3	1.1-1.6	x	x	
McDermott 2016	その他																		0	x	x	x	x	x	x	x	x		
男女別ABI平均値について																													
Kapoor 2018	横断研究	Men 1482	>40	<0.9	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		6.9	x	x	x
Kapoor 2018	横断研究	Women 1570	>40	<0.9	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		6.3	x	x	x
Ishida 2014	横断研究	Men 4577	<60	≤0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		0.3	x	x	x
Ishida 2014	横断研究	Women 5174	<60	≤0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		0.4	x	x	x
Ishida 2014	横断研究	Men 1885	≥60	≤0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		1.1	x	x	x
Ishida 2014	横断研究	Women 1875	≥60	≤0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		0.5	x	x	x
Aboyans 2007	横断研究	Non-Hispanic Women 453		<0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		3.5	x	x	x
Aboyans 2007	横断研究	Non-Hispanic Women 453		<0.88	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		2.2	x	x	x
Aboyans 2007	横断研究	Black Women 187		<0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		6.4	x	x	x
Aboyans 2007	横断研究	Blackc Women 187		<0.88	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		4.1	x	x	x
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Men 1336		<0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		11	x	x	x
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Women 1461		<0.9	-2	-1	-2	0	-2	0	-2	0	-2	0	-2	-1	0	-2	-2	-2	x	x	x	x		12	x	x	x

コメント（該当するセルに記入）

Pabon 2022	PADガイドライン																											
McDermott 2016	ABIの男女差に関する総説																											
Kapoor 2018	カットオフ値以下の人の割合。画像診断によるPAD有無の確認はなし。																											
Ishida 2014	カットオフ値以下の人の割合。画像診断によるPAD有無の確認はなし。																											
Hiramoto 2014 Sex	カットオフ値以下の人の割合。画像診断によるPAD有無の確認はなし。																											
Aboyans 2007	カットオフ値以下の人の割合。画像診断によるPAD有無の確認はなし。																											

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	女性。一般市民／リスクファクターを有する人/透析患者
介入	女性特有のABIのカットオフ値（ABI<0.9 ABI>1.40）
対照	男性著同じABIカットオフ値（ABI<1.0）
参照スタンダード	画像検査

●バイアスリスト。非直接性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
●●上見要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）							
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	平均値差 +標準化平均値	標準偏差

アウトカム	心血管疾患リスクを有する患者の発見精度														
個別研究						バイアスリスク									
						選択バイアス	インデックス検査	参照基準	症例減少バイアス リスク	フロートタイミン グ	その他の バイアス		非直接性*	まとめ	リスク人数（アウトカム率）

ド研 究 コ ー ス	デ研 ザ イ ン	症 例 数	年 齢	フカ 値 ツ ト オ	参 照 基 準	ダシ臨 過ラに 即	盲 検 化	盲 検 化	参 照 不 完 全 準	検 査 不 完 全 実 施	施 同 時 に 実	損デ な い ど タ 欠	ま と め	対 象	クイ ン ス 検 査 デ ア	参 照 基 準	ム ア ウ ト カ	ま と め	T P	F P	F N	T N	有 病 率	信 頼 区 間	感 度	信 頼 区 間	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	2797	70-79	<0.9		0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	
Weatherley 2007	コホート研究	12186	45-64	<0.9		0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Men, fully adjusted, 151	70-79	<0.9	Incident PAD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 5.77	3.21-10.37		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Women, fully adjusted, 177	70-79	<0.9	Incident PAD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 5.56	2.11-12.67		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Men, fully adjusted, 151	70-79	<0.9	Incident stroke	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 1.17	0.56-2.47		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Women, fully adjusted, 177	70-79	<0.9	Incident stroke	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 2.58	1.35-4.92		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Men, fully adjusted, 151	70-79	<0.9	Incident MI	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 2.26	1.19-4.30		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Women, fully adjusted, 177	70-79	<0.9	Incident MI	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 2.55	1.35-5.72		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Men, fully adjusted, 129	70-79	0.9-1.0	Incident PAD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 1.70	0.72-4.03		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Women, fully adjusted, 220	70-79	0.9-1.0	Incident PAD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 3.33	1.44-7.70		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Men, fully adjusted, 151	70-79	<0.9	CHD death	0	-2	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 4.38	1.81-10.62		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Women, fully adjusted, 177	70-79	<0.9	CHD death	0	-2	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 4.96	1.53-16.01		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Men, fully adjusted, 129	70-79	0.9-1.0	CHD death	0	-2	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 3.49	1.39-8.72		x	
Hiramoto 2014 Sex	コホート研究	Women, fully adjusted, 220	70-79	0.9-1.0	CHD death	0	-2	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 4.84	1.53-15.31		x	
Weatherley 2007	コホート研究	White Men adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 2.81	1.77-4.45		x	
Weatherley 2007	コホート研究	White Women, adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 2.05	1.0-3.53		x	
Weatherley 2007	コホート研究	African Men, adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 4.86	2.76-8.47		x	
Weatherley 2007	コホート研究	African Women, adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	x	x	x	x	HR 2.34	1.26-4.35		x	
Weatherley 2007	コホート研究	5226 Whites Men, age- and field-center adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0		19	61	431	4015	incidence rates (per 1,000 person- years) 21.8	13.9-34.3		x
Weatherley 2007	コホート研究	5502 Whites Women, age- and field- center adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0		14	158	222	5108	incidence rates (per 1,000 person- years) 6.9	4.1-11.6		x
Weatherley 2007	コホート研究	5502 Whites Women, age- and field- center adjusted	45-64	<0.85	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0		9	60	227	5206	incidence rates (per 1,000 person- years) 11.1	5.8-21.3		x
Weatherley 2007	コホート研究	1350 African Men, age- and field-center adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0		14	28	131	1177	incidence rates (per 1,000 person- years) 40.7	24.0-69.0		x
Weatherley 2007	コホート研究	2210 African Women, age- and field- center adjusted	45-64	<0.9	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0		11	76	122	2001	incidence rates (per 1,000 person- years) 11.4	6.3-20.7		x
Weatherley 2007	コホート研究	2210 African Women, age- and field- center adjusted	45-64	<0.85	CHD	0	-2	-2	-1	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0		8	44	125	2033	incidence rates (per 1,000 person- years) 13.6	6.8-27.2		x

CQ4 PADに対する血行再建の適応において、性差を考慮すべきか？

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
----------	---------------------

＊バイアスリスク、非盲検性
各ドメインの評価は「高（-2）」、「中／低い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まとは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。

対象	末梢血管疾患の女性
介入	血行再建術
対照	末梢血管疾患の男性

まためは「高(-2)」、「中(-1)」、「低(0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。

※ 上昇要因

各項目の評価は「高(+2)」、「中(+1)」、「低(0)」の3段階。

まためは「高(+2)」、「中(+1)」、「低(0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。

アウトカムごとに別紙にまとめる。

[illegible]

ド研 究 コ ー ス	デ研 ザ イ ン	の 背 差 景 因 子	ケ ア の 差	ムア不 測ウ適 定ト切 かな	アフホ オオ全 ブロ全 ！な	整 交 不 続 十 の 分 調 な	バ そ イ の ア 他 ス の	ま と め	保 重 反 応 関	交 動 結 果 減 弱	大 効 き 果 さ の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ムア ウ ト カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	(効 果 類 型)	(効 果 指 標)	信 頼 区 間	
Wang 2017 (total)	その他	-2	-2	-1	-2	-2	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	OR	x	x
Barry 2022	コホート研究	-1	-1	0	-1	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	561	22	4.8	314	10	3.4	x	x	x
Levin 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6525	246	3.8	2789	88	3.2	p		0.14
Heidemann 2021	コホート研究	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	17616	x	x	17616	x	x	x	x	x
Kotov 2021	コホート研究	0	-2	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	3251	x	x	3251	x	x	HR		0.84 0.78-0.90
Lee 2020	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	114	17	14.9	114	18	15.8	HR		0.89 0.53-1.52
Choi 2019	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2523	18	1	550	8	1.8	adjusted HR		1.925 0.790-4.687
Doshi 2017	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25758	x	1	25758	x	1	p		0.62 x
Hedayati 2015	コホート研究	0	-2	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Wang 2017 (total)	その他	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	241780	4970	2.1	185187	4572	2.5	OR		1.21 1.16-1.26
Wang 2017 (EVT)	その他	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	21919	130	0.6	16724	118	0.7	OR		1.18 0.92-1.52
Wang 2017 (open)	その他	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	9784	263	2.7	5614	219	3.9	OR		1.49 1.24-1.79
Wang 2017 (total, vascular risk factor matched)	その他	0	-2	-2	-2	0	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	OR		1.39 1.13-1.71
Wang 2017 (total)	その他	-2	-2	-1	-2	-2	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	128266	484	0.2	168622	503	0.3	OR		1.35 1.19-1.53
Barry 2022	コホート研究	-1	-1	0	-1	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	561	22	4.8	314	10	3.4	x	x	x
Levin 2022, 鼠 径下バイパス	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6525	246	3.8	2789	88	3.2	p		0.14 x
Heidemann 2021, Fontaine 2	コホート研究	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	11298	x	x	11298	x	x	HR		0.78 0.74-0.82
Heidemann 2021, Fontaine 3	コホート研究	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	1676	x	x	1676	x	x	HR		0.81 0.73-0.91
Heidemann 2021, Fontaine 4	コホート研究	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	4642	x	x	4642	x	x	HR		0.91 0.87-0.97
Kotov 2021	コホート研究	0	-2	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	3251	x	x	3251	x	x	HR		0.84 0.78-0.90
Lee 2020	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	114	17	14.9	114	18	15.8	HR		0.89 0.53-1.52
Choi 2019	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2523	18	1	550	8	1.8	adjusted HR		1.925 0.790-4.687
Doshi 2017	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25758	x	1	25758	x	1	p		0.62 x
Hedayati 2015	コホート研究	-2	-2	-1	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11389	93	0.7	14246	85	0.8	OR		1.14 0.85-1.54
Hedayati 2015, adjusted	コホート研究	0	-2	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	adjusted OR		1.07 0.79-1.46

コメント（該当するセルに記入）

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	末梢血管疾患の女性
介入	血行再建術
対照	末梢血管疾患の男性

＊バイアスリスク、赤旗緑性
 各ドメインの評価は「高（＋2）」、「中／疑い（－1）」、「低（0）」の3段階。
 まとめは「高（＋2）」、「中（－1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 ＊＊上昇要因
 各項目の評価は「高（＋2）」、「中（＋1）」、「低（0）」の3段階。
 まとめは「高（＋2）」、「中（＋1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

アウトカム	致肢（大切断）
-------	---------

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）						平均値差 ・標準化平均値	標準偏差差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差		

個別研究		バイアスリスク*							上昇要因**							非直接性*				リスク人数 (アウトカム率)							(効果指標)	(効果指標)	信頼区間
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他	まとめ	係重反応関	交絡異減弱	大効果の	まとめ	対象	介入	対照	アウトカ	まとめ	母対照群分	子対照群分	(%)	母介入群分	子介入群分	(%)							
Wang 2017	その他	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	HR	1.02	0.74-1.39				
Lee 2022	その他	-1	-2	0	-2	-1	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	1331864	131518	x	1092482	99875	x	RR	0.91	0.86-0.97				
Levin 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	-2	-2	2370	x	5.2	1695	x	6.5	x	x	x					
Barry 2022	コホート研究	-1	-1	0	-1	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	561	48	9.1	316	12	4	x	x	x					
Kotov 2021	コホート研究	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	3251	x	x	3251	x	x	HR	0.81	0.75-0.88					
Kohi 2020	コホート研究	-2	-1	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x					
Giannopoulos 2020	コホート研究	-2	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	437	x	x	252	x	x	HR	2.36	1.09-5.12					
Lee 2020	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	143	49	34.8	142	39	28.2	HR	0.77	0.53-1.12					
Choi 2019	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2523	102	4	550	44	8	adjusted HR	1.41	0.975-2.039					
Doshi 2017	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25758	x	4.1	25758	x	4	p	0.69	x					
Han 2016	コホート研究	-2	-2	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	190	x	99.4	97	x	98.9	p	<0.05	x					
Hedayati 2015	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x					
Lee 2022	その他	-1	-2	0	-2	-1	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	1331864	131518	9.874731955	1092482	99875	9.142027054	RR	0.91	0.86-0.97					
Wang 2017 (total)	その他	-2	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	975662	95161	9.8	778850	80182	10.3	OR	1.07	1.02-1.12					
Wang 2017 (EVT)	その他	-2	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	24329	485	2	18178	344	1.9	OR	1.25	0.74-2.09					
Wang 2017 (open)	その他	-2	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	7197	135	1.9	4092	99	2.4	OR	1.33	0.93-1.90					
Wang 2017 (total, vascular risk factor matched)	その他	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	OR	1.53	1.17-2.01					
Wang 2017 (total)	その他	-2	-1	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	HR	0.93	0.70-1.24					
Wang 2017 (EVT)	その他	-2	-1	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	HR	0.82	0.66-1.01					
Wang 2017 (open)	その他	-2	-1	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	HR	1.09	0.72-1.65					
Wang 2017 (total, vascular risk factor matched)	その他	0	-1	0	-2	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	HR	1.02	0.74-1.39					
Levin 2022, EVT	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	-2	-2	40051	x	*6.6	24701		*6.6	x	x	x					
Levin 2022, 鼠径下バイパス	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	-2	-2	6525	x	*6.5	2789		*7.2	x	x	x					
Levin 2022, 鼠径下バイパス	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	-2	-2	2370	x	*5.2	1695		*6.5	x	x	x					
Barry 2022	コホート研究	-1	-1	0	-1	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	561	48	9.1	316	12	4	x	x	x					
Kotov 2021	コホート研究	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	3251	x	x	3251	x	x	HR	0.81	0.75-0.88					
Kohi 2020, DCB	コホート研究	-2	-1	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	128	0	0	69	0	0	x	x	x					
Kohi 2020, PTA	コホート研究	-2	-1	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	70	0	0	33	0	0	x	x	x					
Giannopoulos 2020	コホート研究	-2	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	437	x	x	252	x	x	HR	2.36	1.09-5.12					
Giannopoulos 2020	コホート研究	-2	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	437	x	x	252	x	x	HR	1.69	0.87-3.26					
Lee 2020	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	143	49	34.8	142	39	28.2	HR	0.77	0.53-1.12					
Choi 2019	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2523	102	4	550	44	8	adjusted HR	1.41	0.975-2.039					
Doshi 2017	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25758	x	4.1	25758	x	4	p	0.69	x					
Han 2016	コホート研究	-2	-2	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	190	x	99.4	97	x	98.9	p	<0.05	x					
Hedayati 2015	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	11389	93	0.7	14246	85	0.8	OR	0.83	0.71-0.96					
Hedayati 2015, adjusted	コホート研究	0	-2	0	0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	adjusted OR	0.78	0.65-0.92					
Hedayati 2015	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	11389	1028	7.22	14246	689	6.05	p	0.0008	x					

Hedayati 2015, adjusted	コホート研究	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	adjusted OR	0.82	0.73-0.92

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	末梢血管疾患の女性
介入	血行再建術
対照	末梢血管疾患の男性

＊バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとも。

アウトカム		開存率（2次）										バイアスリスク*										対照群										平均値										標準偏差										介入群										平均値										標準偏差										平均値										標準偏差										平均値										標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
個別研究		バイアスリスク*										上昇要因**										非直接性*										リスク人数（アウトカム率）										（効果指標）										（効果指標）										信頼区間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ド	デ	の	ケ	ム	ア	ア	整	バ	ま	係	交	大	ま	対	介	対	ム	ま	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子	リ	母	子

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	末梢血管疾患の女性
介入	血行再建術
対照	末梢血管疾患の男性

＊バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとも。

アウトカム		有害事象															バイアスリスク*										対照群		平均値		標準偏差		介入群		平均値		標準偏差		平均値 標準偏差		標準偏差																			
個別研究		バイアスリスク*															非直接性*										リスク人数（アウトカム率）																																	
		選択バイアス				実行バイアス		検出バイアス		症例選択バイアス		その他			上昇要因**					対象					介入					対照					ム アウト カ					まとめ					母対 照群 分		子対 照群 分		（%）		母介入 群分		子介入 群分		（%）		（効果 指標）		（効果 指標）	
ド 研究 コ ー	デ 研 ザ 研 イ ン	の 背 差 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア ネ 測 定 切 可 な	ア フ ネ ア イ 全 ブ ロ 全 1 な	整 交 不 結 十 調 な	バ イ ソ イ の ア 他 ス の	ま と め	保 量 反 応 関	交 絡 結 果 減 弱	大 効 果 さ の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ	ま と め	母対 照群 分	子対 照群 分	（%）	母介入 群分	子介入 群分	（%）	（効果 指標）	（効果 指標）	信頼 区間																																		
Wang 2017	その他	0	-1	-1	-1	-1	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	RR	x	x	1.18	1.08-1.28																															
Lee 2022	その他	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30323	7535	24.84912443	18924	4922	26.00930036	x	x	x	x	x	x	x	x																												
Levin 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6525	x	18.8	2789	x	15.6	x	x	x	x	x	x	x	x																												
Barry 2022	コホート研究	-1	-1	0	-1	-2	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	558	94	313	38	38	15.6	x	x	x	x	x	x	x	x																												
Kohi 2020	コホート研究	-2	-1	-2	-1	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	18.8	x	x	15.6	x	x	x	x	x	x	x	x																												
Giannopoulos 2020	コホート研究	-2	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	591	58	9.8	324	38	11.72839506	x	x	x	x	x	x	x	x																												
Behrendt 2019	横断研究	0	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	OR			2.46	1.58-3.84																																
Choi 2019	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	2523	x	x	550	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x																												
Doshi 2017	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25758	x	36	25758	x	35.1	p						0.039	x																												
Sinnamon 2014	コホート研究	-2	-1	-1	-1	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2692	316	11.7384844	1510	226	14.96688742	x	x	x	x	x	x	x	x																												

$$0.5\text{mg/dL} = 500\text{ng/mL} = 0.5\mu\text{g/mL} = 5\mu\text{g/dL}$$

参照スタンダード	画像診断（エコー、CT）
----------	--------------

連続変数の場合には以下を使用、不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）					
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差

アウトカム		DVTの診断																						対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	
個別研究						バイアスリスク																								
						選択バイアス	インデックス検査	参照基準		症例対照バイアス リスク	フロー・タイムリン グ	その他の バイアス		非直接性*					まとめ	リスク人数（アウトカム率）										
ド 研 究 コ ー	デ ザ イ ン	症 例 数	年 齢	フ ォ ロ ー ア ッ プ オ	参 照 基 準	ダ シ 臨 選 ラ に 即	盲 検 化	盲 検 化	参 照 完 全 基 準 な	検 査 完 全 実 施 な	同 時 に 実 施	検 査 な い ビ タ 欠	ま と め	対 象	ク イ ス ン 検 査 プ	参 照 基 準	ム ア ウ ト カ	ま と め	T P	F P	F N	T N	有 病 率	信 頼 区 間	感 度	信 頼 区 間				
Obata- Yasuoka, 2022	コホート研究	398（単胎） +33（双胎・三胎）	32.4±5.3, 33.9±5.1, 32.8+~4.4, 31.4+~5.4	20週まで 3.2 μg/mL		0	-2	-2	-2	-1	-2	0	-2	-2	0	0	0	0	3	5	0	428	0.69	x	100%	98.8%				
Obata- Yasuoka, 2022	コホート研究	848（単胎） +57（双胎・三胎）	32.4±5.3, 33.9±5.1, 32.8+~4.4, 31.4+~5.4	21-34週 3.2 μg/mL		0	-2	-2	-2	-1	-2	0	-2	-2	0	0	0	0	0	87	0	818	0	x	x	x				
Obata- Yasuoka, 2022	コホート研究	735（単胎） +34（双胎・三胎）	32.4+~5.3, 32.8+~4.4	経膈 3.2 μg/ mL		0	-2	-2	-2	-1	-2	0	-2	-2	0	0	0	0	1	114	0	654	0.130039012	x	100%	x				
Obata- Yasuoka, 2022	コホート研究	228（単胎） +29（双胎・三胎）	33.9±5.1, 31.4+~5.4	帝王切開 1.0 μg/mL		0	-2	-2	-2	-1	-2	0	-2	-2	0	0	0	0	1	251	0	5	0.389105058	x	100%	x				
Bellesini, 2021	その他	1194	≥18 years	0.5 μg/ mL(3studies) , 1 μg/ mL(1study)		0	-2	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	100	x	x	100	7.4	x	100%	95%-100%				
Reagh, 2021	コホート研究	1752	≥18 years	0.33 μg/m L(female), 0.32 μg/mL (male)		-2	-2	-2	-2	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	191	x	x	x	x	x	95%	x				
Chan, 2010	コホート研究	227		1.89 μg/mL by Vidas		0	-2	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	14	45	1	167	6.6%	4.0-10.6	93.3	68.1-99.8				
Chan, 2010	コホート研究	226		1.51 μg/mL by Asserachrome		0	-2	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	15	55	0	156	6.6%	4.0-10.6	100	78.2-100				
Chan, 2010	コホート研究	225		0.57 μg/mL by IL		0	-2	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	12	53	3	157	6.6%	4.0-10.6	80	51.9-95.7				
Chan, 2010	コホート研究	228		1.50 μg/mL by Sta-Lia		0	-2	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	x	x	x	x	6.6%	4.0-10.6	93.3	68.1-99.8				
Chan, 2010	コホート研究	224		1.50 μg/mL by Innovance		0	-2	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	15	81	0	128	6.6%	4.0-10.7	100	74.7-100				
Nishii, 2009	コホート研究	1131（単胎 1106、双胎 25)		3.2 μg/mL		0	-2	-2	-2	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x				

コメント（該当するセルに記入）

Obata-Yasuoka, 2022		DVTは7名のみ、5名は20週までに発症																							
Bellesini, 2021	systematic review and meta-analysis	対象は妊婦																							positive predictive value 1
Chan, 2010		対象は妊婦				妊婦全例にUS,228名はD-dimer test、合計17名がDVT（15名はD-dimerあり）																			
Nishii, 2009		対象は妊婦				有病者と健康者のD-dimer値を比較																			positive predictive value 7

CQ6 大動脈病変に対するEVARの推奨度に性差はあるか？

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	大動脈瘤の女性
介入	EVAR
対照	大動脈瘤の男性

アウトカム	治療後の破裂
個別研究	バイアスリスク*
	選択バイアス 実行バイアス 検出バイアス 意図減少バイアス その他

＊バイアスリスク、多重検性
 各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（+1）」、「低（0）」の3段階。
 まとめは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 ＊＊上昇要因
 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
 まとめは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

上昇要因＊

非直接性＊

連続変数の場合には以下を使用、不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）						平均値 ・標準偏差2段階	標準偏差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差		

リスク人数（アウトカム率）

ド 研 究 コ ー ン	デ ザ イ ン	の 背 景 因 子	ケ ア の 差	ムア不 測ウ適 定ト切 かな	アフホ オ全 プロ全 ！な	整交不 続十 の分 調な	バそ イの ア他 スの	ま と め	保 重 反 応 関	交 効 結 果 減 弱	大 効 き 果 さ の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ムア ウ ト カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	(効 果 類 指 標)	(効 果 類 指 標)	信 頼 区 間		
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11758	x	x		2891	x	x	x	x	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8604	x	x		623	x	x	x	x	x	
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	x	x		131	x	x	x	x	x	
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11758	x	x		2891	x	x	HR	1.5	1.1-1.2	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8604	49	0.6		623	2	0.3	p	0.581	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7272	35	0.5		495	1	0.2	p		0.727	x
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	0	0		131	0	0	p	NA	x	

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	大動脈瘤の女性
介入	EVAR
対照	大動脈瘤の男性

アウトカム		再治療（術後の拡大）														対照群		平均値		標準偏差		介入群		平均値		標準偏差		平均効果 （標準化平均値）		標準偏差																	
個別研究		バイアスリスク*												非直接性*						リスク人数（アウトカム率）																											
		選択バイアス		実行バイアス		検出バイアス		その他		上昇要因**						対象				介入				対照				ムアウトカ				母対照群分		子対照群分		（%）		母介入群分		子介入群分		（%）		（効果指標）		（効果指標）	
ド 研 究 コ ー ン	デ 研 ザ イ ン	の 背 差 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア 不 測 ウ 適 定 ト 切 かな	ア フ ホ オ 全 な	整 交 不 結 十 の 分 調	バ ソ イ の ア 他 ス	ま と め	係 重 反 応 関	交 効 結 果 減 弱	大 効 き 果 さ の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	（%）	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	（%）	（効果指標）	（効果指標）	信頼区間																					
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11758	x	x		2891	x	x	x	x	x	x	x																		
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	x		954	x	x	x	x	x	x	x																		
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	x	x		232	x	x	x	x	x	x	x																		
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	x	x		636	x	x	x	x	x	x	x																		
Mwipatayi 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3220	x	x		538	x	x	x	x	x	x	x																		
O'Donnell 2020	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	266	x	x		133	x	x	x	x	x	x	x																		
Liu 2020	その他	-2	-2	0	-2	-1	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9164	x	x		2058	x	x	x	x	x	x	x																		
Varkevisser 2020	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1045	x	x		251	x	x	x	x	x	x	x																		
Nevidomskyyte 2017	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	696	x	x		160	x	x	x	x	x	x	x																		
Ultee 2016	コホート研究	0	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18215	x	x		2304	x	x	x	x	x	x	x																		
Chung 2015	コホート研究	-2	-1	-1	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1166	x	x		214	x	x	x	x	x	x	x																		
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	8604	x	x		623	x	x	x	x	x	x	x																		
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	x	x		131	x	x	x	x	x	x	x																		
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11758	x	x		2891	x	x		HR	1.1	0.96-1.2																			
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721		127	2.6	954	35	6.4	p	<0.0001																					
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721		196	5.8	954	44	11.5	p	<0.0001																					
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	x		954	x	x	OR	1.5	1.1-2.2																				
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754		220	12.5	232	25	10.8	p		0.507	x																			
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	x		2.9	636	x		2	x	x	0.76-1.08																			
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	x		8.1	636	x		10.9	x	x	0.76-1.08																			
Mwipatayi 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3220	x	x		538	x	x		HR	1.385 (p=0.032)																				
Mwipatayi 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3220	x		9	538	x		13	x	x	x																			
O'Donnell 2020	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	266	x		16	133	x		14	HR	0.77	0.42-1.42																			

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）						平均値 、標準偏差	標準偏差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差		

アウトカム		術後の生命予後（死亡）																													
個別研究		バイアスリスク*								上昇要因**					非直接性*					リスク人数（アウトカム率）											
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少 バイアス	その他				偏重反 応関	交絡異 質性	大効果 サイズの			対 象	介 入	対 照	ムア ウト カ			母対 照群 分	子対 照群 分	(%)	母介 入群 分	子介 入群 分						
ド 研 究 コ ー ル	デ ザ イ ン	の 背 景 因 子	ケ ア の 差	ムア ネ調 ウ適 切な	アフ テ死 亡の 分 別な	整交 結十 の分 調な	バソ イの 他 スの	ま と め																							
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11758	x	x		2891	x	x	HR		1.2	1.2-1.3		
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	x		954	x	x	p	<0.0001				
Pouncey 2021 (risk adjusted)	その他	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	OR		1.86	1.43-2.40			
Boyle 2021	コホート研究	-2	-2	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59039	x	x		10732	x	x	p	<0.01	x			
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	x	x		232	x	x	x	x	x	x		
Mwipatayi 2020	コホート研究	-2	0	0	0	0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3220	x	x		538	x	x	x	x	x	x		
Varkevisser 2020, adjusted	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1045	x			251	x	x	x	x	x	x		
O'Donnell 2020	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	266	x	x		133	x	x	x	x	x	x		
Liu 2020	その他	-1	-1	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53414	x	x		19286	x	x	x	x	x	x		
Barbey 2019	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9164	x	x		2058	x	x	x	x	x	x		
Indrakusuma 2019, adjunst	コホート研究	-1	0	0	0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7581	x	x		1155	x	x	x	x	x	x		
Ulug 2017	その他	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
Deery 2017	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
Nevidomskyye 2017	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	696	x	x		160	x	x	x	x	x	x		
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	x	x		2036	x	x	x	x	x	x		
Lowry 2016	コホート研究	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18215	x	x		2304	x	x	x	x	x	x		
Gloviczki 2015	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	764	x	x		106	x	x	x	x	x	x		
Chung 2015	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1166	x	x		214	x	x	x	x	x	x		
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8604	x	x		623	x	x	x	x	x	x		
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x	x		408	x	x	x	x	x	x		
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	x	x		131	x	x	x	x	x	x		
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11758	x	x		2891	x	x	HR		1.2	1.2-1.3		
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x		0.5	954	x		1.8	p	<0.0001	x		
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	x		954	x	x	adjusted OR		3.1	1.6-5.8		
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721		213	3.6	954		37	5.9	p	0.007	x		

Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2		0	0	0	0	0	0	0	8604	164	1.9	623	12	1.9	p		0.972	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2		0	0	0	0	0	0	0	8604	x	x	623	x	x	OR		0.89	0.48-1.67	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2		0	0	0	0	0	0	0	8604	857	10	623	72	11.6	OR		0.201	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2		0	0	0	0	0	0	0	8604	x	x	623	x	x	OR		1.21	0.96-1.53	
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1		0	0	0	0	0	0	0	1660	x		408	x		1	p		0.269	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1		0	0	0	0	0	0	0	1660	x		408	x		1.2	p		0.571	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1		0	0	0	0	0	0	0	1660	x		408	x		4.2	p		0.322	x
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1		0	0	0	0	0	0	0	1131	16	1.4	131		0	0	p		0.4	x
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1		0	0	0	0	0	0	0	1131	x		131	x		8.5	p		0.99	x

アウトカム		術後の心血管イベント																																
		バイアスリスク*																																
		選択バイアス			実行バイアス			検出バイアス			症例減少バイアス			その他			上昇要因*					非直接性*					リスク人数 (アウトカム率)							
ド 研 究 コ ー ス	デ ザ イ ン	の 背 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア 不 測 定 切 な	フ ア 不 完 全 な バイアス	整 交 結 分 調 な	バ ソ イ の ア 他 の ス の	ま と め	保 重 反 応 関	交 効 果 減 弱	大 効 果 さ の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	(効 果 指 標)	(効 果 指 標)	信 頼 区 間								
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	x		954	x	x	x	x	x	x					
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	x	x		232	x	x	x	x	x	x					
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	x	x	x		x	x	x	x	x	x						
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	x	x		636	x	x	x	x	x	x					
Liu 2020	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x						
Deery 2017	コホート研究	-2	-2	-1	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4727	x	x		1048	x	x	x	x	x	x					
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	x	x		2036	x	x	x	x	x	x					
Chung 2015	コホート研究	-2	0	0	-1	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1166	x	x		214	x	x	x	x	x	x					
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x	x		408	x	x	x	x	x	x					
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	x	x		131	x	x	x	x	x	x					
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	12	0.137598899		954		2	0.209643606	p	<0.0001	x					
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	12	0.7		232		1	0.43	p	0.99	x					
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	19	1.1		232		3	1.29	p	0.74	x					
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	x	x	x		x	x	x	OR	1.19	1.03-1.37						
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	8	0.65199674		636		7	1.100628931	p	0.048	x					
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	26	2.118989405		636		12	1.886792453	p	0.017	x					
Liu 2020	その他	-2	-																															

アウトカム	術後の有害事象
-------	---------

個別研究		バイアスリスク*							上昇要因*				非直接性*				リスク人数（アウトカム率）							（効果指標）	（効果指標）	信頼区間
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	交差の不偏性	その他のバイアス	まとめ									母対照群分	子対照群分	(%)	母介入群分	子介入群分	(%)				
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-2	11758	x	2.3	2891	x	3.4	HR	1.5	1.1-2.0
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	x	954	x	x	x	x	
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	x	x	x	
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	x	x	232	x	x	x	x	
O'Donnell 2021	コホート研究	-2	-2	-2	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	26397	x	x	6001	x	x	x	x	
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	x	x	636	x	x	x	x	
Erben 2020	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2764	x	x	603	x	x	x	x	
Liu 2020	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	x	x	x	
Mwipatayi 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3355	x	x	539	x	x	x	x	
Varkevisser 2020	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1045	x	x	251	x	x	x	x	
Trinidad 2019	コホート研究	-2	-2	-2	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12061	x	x	2807	x	x	x	x	
Deery 2018	コホート研究	-2	-2	-1	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4727	x	x	1048	x	x	x	x	
Nevidomskyye 2017	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	696	x	x	160	x	x	x	x	
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	x	x	2036	x	x	x	x	
Ultee 2016 Incidence	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3583	x	x	889	x	x	x	x	
Chung 2015,	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1166	x	x	214	x	x	x	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8502	x	x	607	x	x	x	x	
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x	x	408	x	x	x	x	
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	x	x	131	x	x	x	x	
Marcaccio 2022	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-2	11758	x	2.3	2891	x	3.4	HR	1.5	1.1-2.0
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	52	0.6	954	13	1.4	p	0.01	x
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	0.2	954	x	0.7	p	0.03	x
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	18	0.2	954	8	0.8	p	0.001	x
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	76	1.2	954	20	3	p	0.006	x
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	12	0.2	954	7	1.1	p	0.0002	x
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	71	0.8	954	23	2.4	p	<0.0001	
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	108	1.2	954	32	3.4	p	<0.0001	
Ilyas 2022	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8721	x	x	954	x	x	OR	1.9	1.4-1.26
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	OR	2.17	2.07-2.28	
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	OR	3.02	1.62-5.65	
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	OR	1.44	1.17-1.77	
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	OR	2.08	1.01-4.29	
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	OR	1.99	1.51-2.62	
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	OR	2.13	1.48-3.06	
Pouncey 2021	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	OR	1.14	0.85-1.44	
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	2	0.12	232	0	0	p	0.99	x
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	0	0	232	1	0.43	p	0.118	x
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	1	0.66	232	1	0.43	p	0.223	x
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	24	1.4	232	9	3.9	p	0.011	x
Erben 2021	コホート研究	-2	-2	0	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1754	x	x	232	x	x	OR	6.4	1.4-3.5
O'Donnell 2021	コホート研究	-2	-2	-2	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	26397	1068	4.045914308	6001	485	5.188679245	OR	2.7	2.0-3.6
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	88	7.17196414	636	33	5.188679245	p	0.122	x
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	41	3.341483293	636	7	1.100628931	p	0.006	x
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	36	2.93398533	636	16	2.51572327	p	0.026	x
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	15	1.222493888	636	3	0.471698113	p	0.082	x
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	39	3.178484108	636	34	5.34591195	p	0.107	x
Behrendt 2021	コホート研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1227	195	15.89242054	636	140	22.01257862	p	0.001	x

Erben 2020	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2764	34	1.2	603	16	2.7	p	0.009	x	
Erben 2020	コホート研究	-2	-2			-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2764	x	x	603	x	x	OR	2.1	1.2-3.9	
Liu 2020	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	x	OR	2.48	1.60-3.84	
Liu 2020	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	x	OR	1.85	1.01-3.39	
Liu 2020	その他	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	x	OR	1.66	1.05-2.61	
Liu 2020	その他	-2	-2	0	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	-2	0	0	0	-1	x	x	x	x	x	x	OR	1.59	0.89-2.83	
Mwipatayi 2020	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3355	x	x	539	x	x	HR	1.323	(p=0.135)	
Varkevisser 2020	コホート研究	-1	-2	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1045	x		3.7	251	x	7.2	x	x	x
Varkevisser 2020, risk-adjusted	コホート研究	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1045	x	x	251	x	x	OR	1	0.5-2.0	
Trinidad 2019	コホート研究	-2	-2	-2	-2	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12061	271	2.2	2807	113	4	OR	1.833	1.445-2.324	
Deery 2018	コホート研究	-2	-2	-1	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4727	x		5.8	1048	x	9.6	p	<0.001	x
Deery 2018	コホート研究	-2	-2	-1	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4727	x	x	1048	x	x	OR	1.4	1.1-1.8	
Deery 2018	コホート研究	-2	-2	-1	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4727	x		1.3	1048	x	3.1	p	<0.001	x
Nevidomskyye 2017	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	696	x		6.5	160	x	13.8	p	<0.01	x
Nevidomskyye 2017	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	696	x		1.6	160	x	3.8	p	0.19	x
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	405	2.7	2036	79	3.9	p	0.004	x	
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	594	4	2036	114	5.6	p	0.001	x	
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	161	1.1	2036	35	1.7	p	0.014	x	
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	540	3.7	2036	106	5.2	p	0.0007	x	
Desai 2016	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14741	508	3.4	2036	90	4.4	p	0.0026	x	
Ultee 2016 Incidence	コホート研究	-2	-2	-1	-1	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3583	14	0.390734022	889	12	1.349831271	p	0.001	x	
Chung 2015,	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1166	106	9.1	214	36	16.9	p	0.001	x	
Chung 2015,	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1166	94	8.3	214	20	9.7	p	0.52	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8502	351	4.1	607	42	6.9	p	0.001	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8502	122	1.4	607	20	3.3	p	0	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8502	279	3.3	607	34	5.6	p	0.002	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8604	927	10.8	623	90	14.4	p	0.005	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8502	216	2.5	607	25	4.1	p	0.019	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8502	508	6	607	56	9.2	p	0.001	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8604	179	2.1	623	21	3.4	p	0.033	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8604	1868	21.7	623	144	23.1	p	0.413	x	
Grootenboer 2013	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	8604	x	x	623	x	x	OR	1.32	1.05-1.66	
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		2.7	408	x	5.4	p	0.013	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		3.4	408	x	3.7	p	0.762	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		1	408	x	2.2	p	0.071	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		0.4	408	x	1.2	p	0.069	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		1	408	x	1.2	p	0.587	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		1.6	408	x	3.4	p	0.025	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		1.9	408	x	6.1	p	0.085	x
Lo 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1660	x		6.2	408	x	14.1	p	<0.001	x
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	47	4.2	131	2	1.5	p	0.23	x	
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	2	0.2	131	1	0.8	p	0.28	x	
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	0	0	131	0	0	p	NA	x	
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	4	0.4	131	0	0	p	1	x	
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	0	0	131	0	0	p	NA	x	
Dubois 2013	コホート研究	-2	0	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1131	x	0.2	131	x	5	p	0.4	x	

CQ7 若年者の無症候性心房細動へのアブレーション治療は、積極的に推奨されるか？

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	若年(45歳未満)の心房細動患者
介入	カテーテルアブレーションなどによる治療

●バイアスリスク、非盲検性
各ドメインの評価は「高 (+2)」、「中/疑い (-1)」、「低 (0)」の3段階。
まともは「高 (+2)」、「中 (-1)」、「低 (0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
●●上昇要因
各項目の評価は「高 (+2)」、「中 (+1)」、「低 (0)」の3段階。
まともは「高 (+2)」、「中 (+1)」、「低 (0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

対照	45歳以上の心房細動患者
----	--------------

アウトカム		死亡										対照群										平均値										標準偏差										介入群										平均値										標準偏差										平均値										標準偏差																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
個別研究		バイアスリスク*										上昇要因**										非直接性*										リスク人数（アウトカム率）										（効果指標）										（効果指標）										信頼区間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	交絡バイアス	その他	選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	交絡バイアス	その他																																																													対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	若年(45歳未満)の心房細動患者
介入	カテーテルアブレーションなどによる治療
対照	45歳以上の心房細動患者

●バイアスリスク、非選択性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
●上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとも。

アウトカム		脳梗塞														対照群		平均値		標準偏差		介入群		平均値		標準偏差		平均値 （標準化平均値）		標準偏差	
個別研究		バイアスリスク*																													
		選択バイアス		実行バイアス		検出バイアス		交絡バイアス		その他		上昇要因**				非直接性*				リスク人数（アウトカム率）											
ド 研 究 コ ー ス	デ ザ イ ン	の 背 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア 不 測 定 切 か な	フ ッ キ 完 全 な い	交 絡 の 分 調 な	バ ソ イ の 他 ア ス の	ま と め	保 重 反 応 関	交 絡 結 果 減 弱	大 効 果 さ の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	（効 果 類 型） 指標	（効 果 類 型） 指標	信 頼 区 間					
Bunch T.J. (2016)	後ろ向き研究	-1	-2	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	-1	849	34	4	74	2	2.7	NA	NA	NA				
Chun K.R. (2013)	多施設前向き レジストリー 研究	-1	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6509	16	0.2	582	0	0	NA	NA	NA				
Tjiskens M. (2022)	コホート研究	-1	-1	0	-1	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	554	3	1	197	0	0	NA	NA	NA				
Leong-Sit P. (2010)	コホート研究	-1	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1729	9	0.5	309	0	0	NA	NA	NA				
Zheng X.D. (2013)	コホート研究	-1	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	-1	187	2	1	71	0	0	NA	NA	NA				
コメント（該当するセルに記入）																															
		低確以下が少ない	アブレーションの手法に明記なし										中群の区切りが50歳																		
		低確以下が少ない	アブレーションの手法に明記なし																												
		低確以下が少ない	アブレーションの手法に明記なし																												
		低確以下が少ない	アブレーションの手法に明記なし																												
		中群の区切りが50歳ではない	アブレーションの手法に明記なし										中群の区切りが50歳																		

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	若年(45歳未満)の心房細動患者
介入	カテーテルアブレーションなどによる治療
対照	45歳以上の心房細動患者

●バイアスリスク、非選択性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
●上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとも。

リスク人数（平均値、標準偏差）

[illegible][illegible][illegible]

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン	●バイアスリスク、非直接性 - 各ドメインの評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。 - まとめは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体反映させる。 ●上昇要因 - 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。 - まとめは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体反映させる。 - アウトカムごとに別表にまとめる。
対象	若年(45歳未満)の心房細動患者	
介入	カテーテルアブレーションなどによる治療	
対照	45歳以上の心房細動患者	

連続変数の場合には以下を使用、不要分は削除。

Q8 慢性高血圧の妊婦中患者において、降圧治療を開始すべき血圧値はいくつか？	
診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	慢性高血圧合併妊娠
介入	140/90mmHgを超えたら降圧療法を開始する

[illegible]

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン	●バイアスリスク、非直接性 - 各ドメインの評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。 - まためは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 ●上昇要因 - 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。 - まためは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 - アウトカムごとに別表にまとめる。
対象	慢性高血圧合併妊娠	
介入	140/90mmHgを超えたら降圧療法を開始する	
対照	160/110または105mmHgを超えたら降圧療法を開始する	

連続変数の場合には以下を使用、不変分は削除。

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン	●バイアスリスク、非盲性 各ドメインの評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。 または「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 ●★上乗要因 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。 または「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 アウトカムごとに別紙にまとめる。
対象	慢性高血圧合併妊娠	
介入	140/90mmHgを超えたら降圧療法を開始する	
対照	160/110または105mmHgを超えたら降圧療法を開始する	

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン	※バイアスリスク、非直接性 各ドメインの評価は「高（-2）」、「中/疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。 まためは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 ※上昇要因 各ドメインの評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
対象	慢性高血圧合併妊娠	

介入	140/90mmHgを超えたら降圧療法を開始する
対照	160/110または105mmHgを超えたら降圧療法を開始する

まとはめは「高(+2)」、「中(+1)」、「低(0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

[illegible]

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	慢性高血圧合併妊娠
介入	140/90mmHgを超えたら降圧療法を開始する
対照	160/110または105mmHgを超えたら降圧療法を開始する

※各項目の評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
 まとめは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

[illegible]

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	慢性高血圧合併妊娠
介入	140/90mmHgを超えたら降圧療法を開始する
対照	160/110または105mmHgを超えたら降圧療法を開始する

※各項目の評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
 まとめは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

アウトカム				加重量妊婦高血圧腎症																				対照群		平均値		標準偏差		介入群		平均値		標準偏差		20%未満 、標準化された		標準偏差													
個別研究				バイアスリスク*																				非直接性*										リスク人数（アウトカム率）																	
				選択バイアス		実行バイアス		検出バイアス		症例減少バイアス				その他																								母対照群分		子対照群分		（%）		母介入群分		子介入群分		（%）		頻度（果糖指	
ド 研 究 コ ー ン テ ン ス イ	ン デ ザ リ ン グ イ	化 ラ ン ダ ム	メ コ ン シ ョ ン !	盲 検 査 化	盲 検 査 化	I T T	各 全 元 カ	メ ウ シ ン ト !	報 告 的 力 弱 ム	選 択 的 力 強 ム	中 期 止 試	ス イ ア 他	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア フ ッ カ	ま と め	母対照群分	子対照群分	（%）		母介入群分	子介入群分	（%）		頻度（果糖指		効果（値）		間接信頼区																				

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

コメント（該当するセルに記入）

區劃

*各項目の評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
 まとめは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

平均緯度

コメント（該当するセルに記入）

TABLE 11

* 各項目の評価は「高 (-2)」、「中/疑い (-1)」、「低 (0)」の3段階。
 まとめは「高 (-2)」、「中 (-1)」、「低 (0)」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

平均緯度

[illegible]

*各項目の評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
 ※まとめは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

[illegible]

＊ハイアリスス、非善性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まめは「高（+2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。

＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まめは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウカムごとに別紙にまとめる。

アウトカム		6MWD										対照群		平均値		標準偏差		介入群		平均値		標準偏差		平均値 ・標準偏差の差		標準偏差											
個別研究		バイアスリスク*										バイアスリスク*										リスク人数 (アウトカム率)										(効果 種類 指標)		(効果 値 指標)		信頼 区 間	
		選択バイアス		実行バイアス		検出バイアス		症例減少バイアス		その他		上昇要因*		非直接性*		対照群		介入群		対照群		介入群		対照群		介入群											
ド 研 究 コ ー ド	デ ザ イ ン	の 背 差 異 因 子	ケ ア の 差	ム ア 不 測 定 切 な	フ ッ キ 完 全 ロ ー ナ	整 交 結 十 の 分 調 な	バ ソ の ア 他 ス の	ま と め	保 量 反 応 関	交 絡 果 減 弱	大 効 果 さ の	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	絶対値, m	<50 +28m 65< +9m	なし											
2	RCT sub解析	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	0	-1	-1	-1	0	0	-1	<50 N=1438 51-64 N=780 65< 409						絶対値, m	<50 +28m 65< +9m	なし											

3	RCT sub解析	0	0	0	0	0	0	0	-2	-2	0	-1	-1	0	0	0	0	プラセボ <65 N=57 ≥65 N=25<50 N=1438 51-64 N=780 65< 409			タダラフィル <65 N=60 ≥65 N=19			絶対値, m	年齢間の差 検定なし
4	後ろ向きコ ホート	-1	-2	-2	-2	-1	0	-1	0	-2	0	-1	-1	-2	0	0	-1	n=119	NA	NA	NA	NA	NA	絶対値, m	年齢が+1歳 増えるごとに 6MWDの改善 が-5m減少 Cox proportional hazard analysis model -5.066 (-6.781, -3.352)
6	総説 KEY論文	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	FDAの添付文 書から高齢者 の治療反応性 についてまと めているTable 5

CQ10 日本人の高齢心不全患者の予後予測に用いるべき身体的フレイルの評価指標は何か？

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	日本人の高齢心不全患者
介入	身体的フレイル
対照	非身体的フレイル

＊バイアスリスク、非直接性
 各ドメインの評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
 まともは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 ＊＊上昇要因
 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
 まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
 アウトカムごとに別紙にまとめる。

アウトカム		死亡率, 再入院率, ADL																	対照群											
個別研究		バイアスリスク*						上昇要因**					非直接性*					リスク人数 (アウトカム率)												
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他	バイアスの可能性	主要な結果の信頼性	交差効果の可能性	主要な結果の信頼性	対象	介入	対照	アウトカム	主要な結果の信頼性	母対照群 (%)	子対照群 (%)	母介入群 (%)	子介入群 (%)	母対照群 (%)	子対照群 (%)	母介入群 (%)	子介入群 (%)	母対照群 (%)	子対照群 (%)	母介入群 (%)	子介入群 (%)	母対照群 (%)	子対照群 (%)	母介入群 (%)
ド 研 究 コ ー	デ ザ イ ン	の 背 差 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア 不 測 ウ 適 定 ト 切 可 な	ア フ 不 ッ タ 完 ロ 全 ー な	整 交 不 十 の 分 調 な	ま と め	保 重 反 応 関	交 知 賜 果 減 害	き 知 さ 果 の 大	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア ウ ト カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	(効 果 指 標)	(効 果 指 標)	信 頼 区 間					
Nozaki et al., 2021	コホート研究	-1	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	-1	34	31	91.2	546	410	75.1	HR	1.20	1.06-1.36					
Maeda et al., 2022	コホート研究	-1	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	-1	NA	NA	NA	NA	NA	NA	HR	1.82	1.23-2.69					
Yamamoto et al., 2022	コホート研究	-1	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	-1	336	245	72.9	376	248	66.0	HR	1.11	0.83-1.49					
Konishi et al., 2021	コホート研究	-1	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	-1	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
Ozawa et al., 2021	コホート研究	-1	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	-1	1034	774	74.9	213	122	57.3	HR	1.70	1.07-2.72					
森原 他., 2021	コホート研究	-1	-1	-2	0	-1	-2	0	0	0	0	-1	-2	-1	0	-2	NA	NA	NA	NA	NA	NA	OR	0.61	0.48-0.77					
Kitai, et al., 2021	コホート研究	-1	-1	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	-1	819	511	62.4	373	196	52.5	HR	1.28	1.01-1.61					

コメント（該当するセルに記入）

前向きコホー ト	多施設研究の 症例	疑われる	死亡率がアウト カムであり 十分と考えら れる	フォローアップ 期間が不定	多変量coxハ ザード解析を 用いている							日本人の65歳 以上心不全患 者に限定	CHS基準≥3	対照あり	死亡率, 再入院 率の増加		非フレイル群 (プレフレイル 除く)		生存率で算出	フレイル群		生存率で算出	coxハザード解 析		
前向きコホー ト	多施設研究の 症例	疑われる	死亡率がアウト カムであり 十分と考えら れる	フォローアップ 期間が不定	多変量coxハ ザード解析を 用いている							日本人の66歳 以上心不全患 者に限定	CHS基準≥3	対照あり	死亡率, 再入院 率の増加		男性: 317, 女 性: 199	男性: 267, 女 性: 161	生存率で算出, 男性: 84.2%, 女 性: 80.1%	男性: 368, 女 性: 309	男性: 274, 女性 239	生存率で算出, 男性: 74.4%, 女 性: 77.3%	coxハザード解 析		
後ろ向きコ ホート	多施設研究の 症例	疑われる	死亡率がアウト カムであり 十分と考えら れる	フォローアップ 期間が不定	多変量coxハ ザード解析を 用いている							日本人の67歳 以上心不全患 者に限定	CHS基準≥3, Mini-Cog® ≥3	対照あり	死亡率, 再入院 率の増加	身体フレイル 無+認知障害 無群と比べ、身 体的フレイル 有+認知障害 無は、死亡率, 再入院率の増 加との関連は ない	身体的フレイ ル無+認知障害 無群		生存率算出	身体的フレイ ル有+認知障害 無群		生存率算出	coxハザード解 析		

前向きコホート	多施設研究の症例	疑われる	死亡率+心不全の再入院があり疑われる	フォローアップ期間が不定	多変量coxハザード解析を用いている							日本人の65歳以上心不全患者に限定	Mini-Cog® <3	対照あり	死亡率+心不全の再入院の増加	身体的フレイルなし+精神的フレイルと比べ身体的フレイルなし+精神的フレイルありでは有意なアウトカムの増加を認めなかった。	精神的フレイル無		生存率で算出, 男性: 84.2%, 女性: 80.1%	精神的フレイル有		生存率で算出, 男性: 74.4%, 女性: 77.3%	coxハザード解析		
後ろ向きコホート	多施設研究の症例	疑われる	死亡率がアウトカムであり十分と考えられる	フォローアップ期間が不定	多変量coxハザード解析を用いている							日本人の65歳以上心不全患者に限定	MMSE1≤23, Mini-Cog® ≤2	対照あり	死亡率の増加	CIs defined by both MMSE and Mini-Cog were independently and significantly associated with worse prognosis after adjustment for MAGGIC score plus log transformed BNP levels at discharge. (CI based on MMSE HR 2.05 95%CI 1.16-3.61, CI based on Mini-Cog HR 2.49 p5%CI	精神的フレイル無(MMSE, Mini-Cog)		生存率算出	精神的フレイル有(MMSE, Mini-Cog)		生存率算出	coxハザード解析		

CQ12 待機的腹部大動脈手術（血管内治療を含む）の適応や術式決定において、年齢を考慮すべきか？

【SR- 評価シート 観察研究】	
診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	80歳以上大動脈瘤症例
介入	保嬰治療
対照	保存治療

※バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高（-2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まためは「高（-2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
※上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まためは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめ。

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

[illegible]

コメント (該当するセルに記入)

[illegible]

アウトカム	合併症											対照群				平均値				標準偏差				介入群				平均値				標準偏差				リスク比率 （95%信頼区間）				標準偏差			
個別研究	バイアスリスク*																													リスク人数（アウトカム率）													
	選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他	上昇要因**					非直接性*																																

コメント（該当するセルに記入）														
AAA(EVAR vs 保存)								平均74歳	平均73.5歳	平均78.1歳	Long term(median:1 530 day)			rupture in death

AAA(EVAR vs 保存)											平均74歳	平均73.5歳	平均78.1歳	Long term(median:1530 day)							Myocardial infarction in death
AAA(EVAR vs 保存)											平均74歳	平均73.5歳	平均78.1歳	Long term(median:1530 day)							Respiratory failure in death
AAA(EVAR vs 保存)											平均74歳	平均73.5歳	平均78.1歳	Long term(median:1530 day)							Malignancy in death
AAA(EVAR vs 保存)											平均78歳	平均78歳	mid-term(2.8y)				5.1 (年間100人当たり発生率)			6.6(年間100人当たり発生率)	致死の心筋梗塞、非致死の心筋梗塞、致死の脳梗塞、非致死の脳梗塞
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	Long term								AAA expansion
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								MAE within 30 d
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								renal function worsening
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								pulmonary infection
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								myocardial infarction
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								myocardial infarction
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								30d mortality
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								total complication
AAA (EVAR)											80歳以上	80歳以上	short term								total complication(心、肺、脳、腎、腸)
AAA (GR)											90歳以上	90歳以上	short term								30d mortality
AAA (GR)											90歳以上	90歳以上	short term								Neurologic
AAA (GR)											90歳以上	90歳以上	short term								Cardiac
AAA (GR)											90歳以上	90歳以上	short term								pulmonary
AAA (GR)											90歳以上	90歳以上	short term								renal
AAA (GR)											80-89	80-89	short term								30d mortality
AAA (GR)											80-89	80-89	short term								Cardiac
AAA (GR)											80-89	80-89	short term								pulmonary
AAA (GR)											80-89	80-89	short term								renal
AAA (EVAR)											90歳以上	90歳以上	short term								30d mortality
AAA (EVAR)											90歳以上	90歳以上	short term								Neurologic
AAA (EVAR)											90歳以上	90歳以上	short term								Cardiac
AAA (EVAR)											90歳以上	90歳以上	short term								pulmonary
AAA (EVAR)											90歳以上	90歳以上	short term								renal
AAA (EVAR)											80-89	80-89	short term								30d mortality
AAA (EVAR)											80-89	80-89	short term								Cardiac
AAA (EVAR)											80-89	80-89	short term								pulmonary
AAA (EVAR)											80-89	80-89	short term								renal
AAA (EVAR)		SR									90歳以上	90歳以上	short term								30d mortality
AAA (EVAR)		SR									90歳以上	90歳以上	short term								total complication(心筋梗塞、肺、腸管虚血、心房細動、末梢塞栓)
AAA(EVAR)											73歳 (中央値)	平均72歳	short term						nonfrail	30d mortality	modified frailty indexで分類
AAA(EVAR)											73歳 (中央値)	平均73歳	short term						prefrail	30d mortality	modified frailty indexで分類
AAA(EVAR)											73歳 (中央値)	平均75歳	short term						frail	30d mortality	modified frailty indexで分類
AAA(EVAR)											73歳 (中央値)	平均72歳	Long term(5y)						nonfrail	Cardiac and cerebrovascular events	modified frailty indexで分類
AAA(EVAR)											73歳 (中央値)	平均73歳	Long term(5y)						prefrail	Cardiac and cerebrovascular events	modified frailty indexで分類

AAA(EVAR)											73歳（中央値）	平均75歳	Long term(5y)					frail	Cardiac and cerebrovascul ar events	modified frailty indexで分類
AAA(GR+EVA R)											平均73歳	平均73歳	short term					mFIが0.45以上ではリスク10倍	total morbidity	GR（2.4% to 20.1%）, EVAR(4.8% to 47.3%)
AAA(GR+EVA R)	SR										elderly	elderly	Long term					frailty assessed by sarcopenia(ce ntral muscle mass)	Long term mortality(frailt yのない患者に 比べた強い患 者の死亡率)	

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	80歳以上大動脈瘤症例
介入	保嬰治療
対照	保存治療

＊バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／強い（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）						平均値と標準偏差 、標準化された	標準偏差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差		

アウトカム		ADL低下												対照群												平均値		標準偏差		介入群		平均値		標準偏差		平均値		標準偏差	
個別研究		バイアスリスク*						上昇要因**						非直接性*						リスク人数（アウトカム率）																			
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他のバイアス	その他	重反応関係	効果減弱交絡	効果の大きさ	その他	対象	介入	対照	アウトカム	その他	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標（種類）	効果指標（値）	信頼区間														
研究コード	研究デザイン	背景因子の差	ケアの差	不適切なアウトカム測定	不完全なフォローアップ	不十分な交絡の調整	その他のバイアス	まとも					まとも																										
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	276	211	76.4	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	276	58	21	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	276	7	2.5	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	235	126	53.6	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	235	93	39.6	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	235	16	6.8	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	197	135	68.5	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	197	58	29.4	QOL(usual activities)	x	X													
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	197	4	2	QOL(usual activities)	x	X													

コメント（該当するセルに記入）

AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	術前										no problem	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	術前										some problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	術前										extreme problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	退院時										no problem	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	退院時										some problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	退院時										extreme problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	1y										no problem	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	1y										some problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	1y										extreme problems	

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	80歳以上大動脈瘤症例
介入	保嬰治療

＊バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／強い（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

対照	保存治療
----	------

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）							平均値 ・標準偏差	標準偏差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差			

アウトカム		治療費用																									
個別研究		バイアスリスク*																									
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他		上昇要因**				非直接性*				リスク人数（アウトカム率）											
研究コード	研究デザイン	背景因子の差	ケアの差	不適切なアウトカム測定	不完全なフォローアップ	不十分な交絡の調整	その他のバイアス	まとめ	重反応関係	効果減弱交絡	効果の大きさ	まとめ	対象	介入	対照	アウトカム	まとめ	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標（種類）	効果指標（値）	信頼区間	
Takayama Y, 2017	症例集積	0	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	ICER	269万円/QALY	X
Takayama Y, 2017	症例集積	0	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	ICER	174万円/QALY	X
Takayama Y, 2017	症例集積	0	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	ICER	489万円/QALY	X
Takayama Y, 2017	症例集積	0	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	ICER	325万円/QALY	X
Takayama Y, 2017	症例集積	0	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	ICER	927万円/QALY	X
Takayama Y, 2017	症例集積	0	-1	0	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	x	x	x	x	x	x	ICER	661万円/QALY	X

対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差	平均値差 （標準差）	標準偏差
-----	-----	------	-----	-----	------	---------------	------

コメント（該当するセルに記入）

EVAR 2 を使用		手術方法の差 EVERといつも 解剖条件によ ってケアが異 なる			多くの仮定を 含んだ方法									80歳男																QALY: quality- adjusted life year	
EVAR 2 を使用																80歳女														保存治療と比 べてEVARを 行った	
EVAR2を使用															85歳男														場合、QOLが 保たれた生存1 年分		
EVAR2を使用															85歳女														を獲得するの にかかる費用		
EVAR2を使用														90歳男																ICER: incremental cost- effectiveness ratio	
EVAR2を使用														90歳女																	

診療ガイドライン	多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
対象	80歳以上大動脈瘤症例
介入	保嬰治療
対照	保存治療

＊バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／疑い（-1）」、「低（0）」の3段階。
まとめは「高（+2）」、「中（-1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。
まとめは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）							平均値 ・標準偏差	標準偏差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差			

アウトカム		認知機能低下																								
個別研究		バイアスリスク*					上昇要因**					非直接性*				リスク人数（アウトカム率）										
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他																				
研究コード	研究デザイン	背景因子の差	ケアの差	不適切なアウトカム測定	不完全なフォローアップ	その他のバイアス	まとめ	重反応関係	効果減弱交絡	効果の大きさ	まとめ	対象	介入	対照	アウトカム	まとめ	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標（種別）	効果指標（値）	信頼区間	
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	276	208	75.4	anxiety/depression	x	x
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	276	61	22.1	anxiety/depression	x	x
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	276	7	2.5	anxiety/depression	x	x
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	235	191	81.3	anxiety/depression	x	x
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	235	40	17	anxiety/depression	x	x
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	235	4	1.7	anxiety/depression	x	x
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	197	162	82.2	anxiety/depression	x	x
Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	197	31	15.7	anxiety/depression	x	x

Pol RA, 2014	コホート研究	-2	-2	0	0	-2	0	-2	0	0	0	0	-2	0	x	0	-1	x	x	x	197	4	2	anxiety/depression	x	x
コメント（該当するセルに記入）																										
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	術前										no problem	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	術前										some problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	術前										extreme problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	退院時										no problem	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	退院時										some problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	退院時										extreme problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	1y										no problem	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	1y										some problems	
AAA（EVAR）													79歳以下	80歳以上	1y										extreme problems	

CQ13 医療者側のどのような傾向が、心血管疾患患者の予後の改善や医療の質向上に貢献するか？

診療ガイドライン		多様性に配慮した循環器診療ガイドライン										*バイアスリスク、非直接性 各ドメインの評価は「高（+2）」、「中／強い（+1）」、「低（0）」の3段階。 まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 **上昇要因 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。 まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 アウトカムごとに別紙にまとも。																	
対象		心血管患者																											
介入		女性医師による診療																											
対照		男性医師による診療																											
アウトカム		30日以内の緊急再入院																											
個別研究		バイアスリスク*										上昇要因**						非直接性*						リスク人数（アウトカム率）					
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他					ま	係	交	大	ま	対	介	対	ム	ま	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
ド	デ	の	ケ	ム	ア	交	整	十	パ	ま	係	量	交	大	ま	対	介	対	ム	ま	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
研	ザ	背	ア	ア	不	不	交	十	ソ	ま	係	量	交	大	ま	対	介	対	ム	ま	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
究	グ	景	の	ア	測	測	不	分	の	と	係	量	交	大	と	対	介	対	ア	と	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
コ	イ	因	差	の	定	果	調	調	他	と	係	量	交	大	と	対	介	対	ウ	と	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
ー	ン	子	差	差	切	全	な	な	ス	と	係	量	交	大	と	対	介	対	ト	と	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
										ま	係	量	交	大	ま	対	介	対	カ	ま	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
										と	係	量	交	大	と	対	介	対		と	母	子	(%)	母	子	(%)	(効	(効	信
Nakayama A 2019	コホート研究	-1	0	0	0	-1	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1994	18	0.9	7550	141	1.9	RR	0.48	0.29-0.78
Tsugawa 2017	コホート研究	-1	0	0	0	-1	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	15.01	NA	NA	15.57	AdjustedRiskDifference	-0.55%	-0.71% to -0.41%

診療ガイドライン		多様性に配慮した循環器診療ガイドライン										*バイアスリスク、非直接性 各ドメインの評価は「高（+2）」、「中/強い（+1）」、「低（0）」の3段階。 まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 **上昇要因 各項目の評価は「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階。 まともは「高（+2）」、「中（+1）」、「低（0）」の3段階でエビデンス総体に反映させる。 アウトカムごとに別紙にまとも。																													
対象		心血管患者																																							
介入		女性医師による診療																																							
対照		男性医師による診療																																							
アウトカム		死亡																																							
個別研究		バイアスリスク*										上昇要因**										非直接性*										リスク人数（アウトカム率）									
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	交代減少バイアス	その他																																			
ド 研 究 コ ー イ ン	デ 研 ザ ギ ザ イ ン	の 背 差 景 因 子	ケ ア の 差	ム ア ア フ 不 測 定 切 な	ア フ ア フ 完 プ ロ 全 い な	整 交 結 十 合 分 調 な	バ セ イ の ア 他 ス の	ま と め	係 量 反 応 関	交 効 絡 果 減 弱	大 効 果 の さ	ま と め	対 象	介 入	対 照	ム ア フ ト カ	ま と め	母 対 照 群 分	子 対 照 群 分	(%)	母 介 入 群 分	子 介 入 群 分	(%)	（効 果 指 標）	（効 果 指 標）	信 頼 区 間															
Nakayama A 2019	コホート研究	-1	0	0	0	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1994	11	0.609	7550	27	0.4	RR	1.4	0.65-3.03														
Tsugawa 2017	コホート研究	-1	0	0	0	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	11.69	NA	NA	11.95	AdjustedRiskD ifference	-0.67%	-0.67% to - 0.42%														
Greenwood BN 2018 (malepatients)	コホート研究	-1	0	0	0	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305,440		11.8	NA	NA	12.6	NA	NA															

連続変数の場合には以下を使用。不要分は削除。

リスク人数（平均値、標準偏差）						平均効果 ・標準化平均値	標準偏差
対照群	平均値	標準偏差	介入群	平均値	標準偏差		

Greenwood BN 2018 (female patients)	コホート研究	-1	0	0	0	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	214,055		12	33,202	NA	13.3	NA	NA	
Meier A 2019	コホート研究	-1	0	0	0	-1	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	327	205	62.5	757	531	71.1	OR	0.65	0.54-0.99